

算数科学習活動指導案

1 単元名（教材名）「かけ算の筆算」

2 単元について

2,3 位数×1 位数の計算の仕方や筆算の仕方について理解し、計算することができる。また、既習の乗法を用いて考え、説明することができる。

3 本時のねらい

数の構成に着目し、2 位数×1 位数の計算の仕方を考える活動を通して、2 位数を位ごとに分ければ既習の乗法で計算できることに気付き、図や式を使って説明できる。

4 本時の評価規準

2 位数×1 位数で、部分積に繰り上がりのない場合の計算原理や方法を理解し、説明することができる。

5 本時の展開（3 / 1 3 時）

（思考・判断・表現）

過程	ねらい	学習活動	指導・援助
つ か む	問題分析を 通して、本時の 課題を明らか にすることが できる。	1 問題提示 1 本 32 円のえん筆を 3 本買います。 代金は何円ですか。	・前時との違い（被乗数が 2 位数）を確認し、1 の位にも数があることに気付かせる。 ・大体の代金を見積もらせる。
考 え る	問題解決の 見通しをもっ て個人追究す ることができ る。	2 課題 32×3 はどのように計算すればよいのだろうか。	
深 め る	式や図を使 って、自分の考 えを筋道立て て話すことが できる。	3 個人追究・全体交流 ○32×3 は 32 の 3 つ分だから 32+32+32 で計算できる。 ○図を使って 30×3=90 2×3=6 答えを合わせて 90+6=96 30×3=90 2×3=6 ○32 を 30 と 2 にわけて計算すればよい。 32 $\left[\begin{array}{l} 30 \times 3 = 90 \\ 2 \times 3 = 6 \end{array} \right] - 96$	・図や式で説明できるように促す。 ・考えの見通しがもてていない児童を前に集め、個別に指導する。 ・ペアで説明をし、自分と似ているところはないか考えさせる。 ・ペアでノートを交換し、自分と相手の考えを説明できるようにする。
確 か め る		4 まとめ 32×3 の計算は、32 を 30 と 2 に位ごとに 分ければ九九を使ってもとめることができる。 5 習熟問題 14×2 5 評価問題 43×2	・図や式で説明をし、習熟を図る ・43×2 の問題を解き、計算の仕方を説明し合う。

